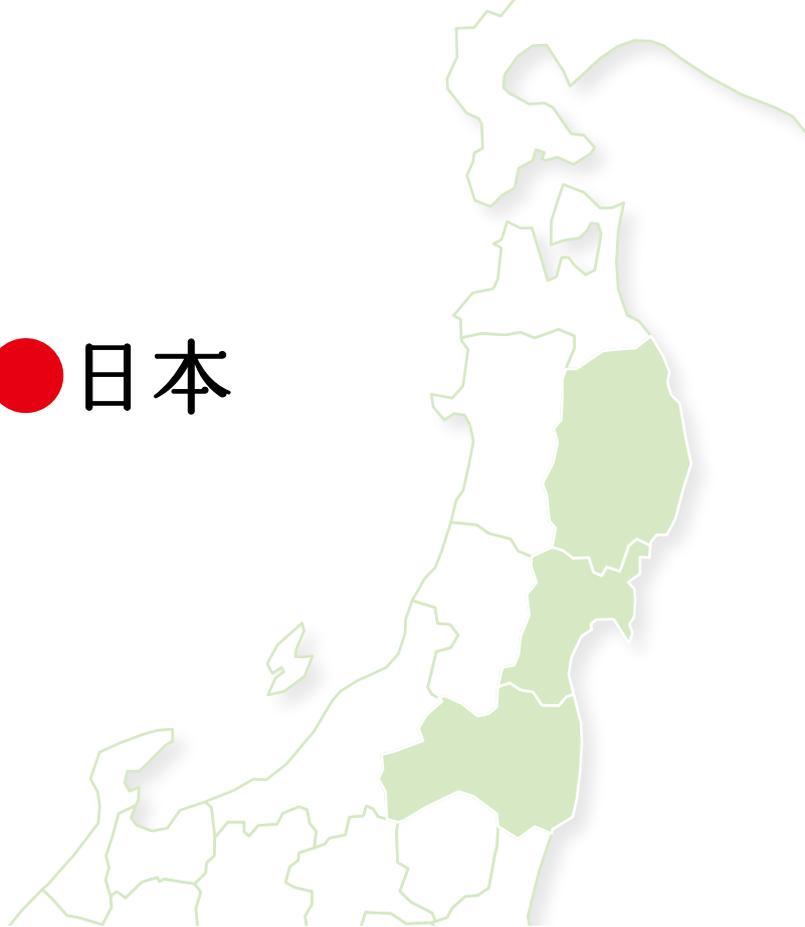


みんなでがんばろう●日本

2024年度 年次報告書
Children's Future Support Foundation



公益財団法人 子ども未来支援財団

学べるしあわせをみんなに
高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」

給付型奨学金 まなべる基金



東日本大震災の影響により家庭の経済状況が変化し、就学や進学が困難、また、経済的な理由により、学校生活に支障をきたす高校生のための返還不要の奨学金制度です。高校入学から卒業までの間、最大81万円を給付しています。高校生向けの給付型奨学金制度が少ない中、進学・就学が困難な状況においても学ぶことをあきらめない高校生を応援し続けています。

支援総額 18.41億円 支援者数 3,376人

※2025年5月までの支援総額

連携団体
◎NPO法人ジービーパートナーズ



支援への御礼コメント

高校ではソフトテニス部に入り、寮生活を送りながら勉強と部活どちらも本気で取り組んできました。いただいた奨学金は高校の授業料や寮費、部活動の遠征や合宿の費用、検定試験の受験料に充てさせていただきました。将来は地域公務員として地域活性化に取り組み、地元や家族に恩返しをしていきたいです。高校生活で学んだことを生かして、大学生活や社会に出てからも一生懸命頑張ります。寄付者の皆さま、3年間支援いただき本当にありがとうございました。

(福島県国見町出身 / 2025年3月卒業)



従来の「子どもサポート基金」のスキームを利用し能登半島地震における子ども支援を実施 「子どもサポート基金」(令和6年能登半島地震支援)



2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の支援として、被災した地域の子どものための支援活動を行う団体に助成する「子どもサポート基金」(令和6年能登半島地震支援)を開始しました。

支援総額 1,638万円 支援件数 11団体

※2025年5月までの支援総額
※本支援は東北支援でお預かりした寄付金を充当しておりません



支援への御礼コメント

皆さまからのあたたかいご支援のおかげで、たくさんのお子たちに笑顔を見ることができ、心から感謝申し上げます。健康的な食事が心身の不調や不安を解消する力を与えてくれています。そして子どもたちがごはんをたくさん食べて元気になってくれることで地域が元気になる、復興にもつながると思っています。今後とも継続的な支援をどうぞよろしくお願いいたします。

(団体名：ここーね子ども食堂 活動場所：石川県七尾市)



子どもたちの成長を支える団体の活動をバックアップ 子どもサポート基金



東北の子どもたちの支援活動に取り組むNPOやボランティア団体への助成を行っています。団体が継続して活動できるよう、複数年にわたる助成を行うとともに、組織の基盤強化をサポートし、希望を持ってたくましく成長できるような健康づくりを推進しています。

支援総額 15.07億円 支援件数 482団体

※2025年5月までの支援総額

支援への御礼コメント

「全ての人は幸せになるために生まれてきたこと」を軸に大学生と一緒に、小中高生へ希望ある生き方を届けています。岩手県では震災以降約200校が統廃合で閉校となっており、今年度で閉校となる大船渡市立末崎中学校にもプログラムとキャリア教育支援冊子をプレゼントできました。活動を担う大学生は震災からの学びの機会も得、学校現場でも運営に大活躍で成長を実感します。活動を応援いただき本当にありがとうございます。

(団体名：特定非営利活動法人未来図書館 活動地域：岩手県)



福島県浜通りの未来のための起業家応援事業 HAMADOORIフェニックスプロジェクト



福島県浜通りは、地震と津波、福島第一原子力発電所事故という多重災害により甚大な被害を受け、復興に時間を要しています。HAMADOORIフェニックスプロジェクトは、福島県浜通りで起業したいという地域貢献意識を強くもち、地域のリーダーとなりうる若者を応援するための起業家応援事業です。1期～3期までの17組の若手起業家たちが浜通りに活気を与えています。

支援総額 3.95億円 支援件数 17団体

※2025年5月までの支援総額

協力団体
◎HAMADOORI13 ※募集受付や交付決定者および団体への伴走などを主体となり実施

支援への御礼コメント

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から14年が経ちます。福島における東日本大震災は「地震、津波、原発事故」という複合的な災害であり現在も避難指示の続く地域も存在します。まだまだ様々な課題を抱える福島県浜通りですが、みなさまからのあたたかいご支援により、若手起業家が新しい事業をスタートさせ浜通りに新しい希望を生み出してきています。この地域の子供たちの未来の発展に寄与できるよう引き続き取り組んでまいります。今後ともご支援いただけますと幸いです。

(一般社団法人HAMADOORI13 代表理事 吉田 学)



2024年度 財務報告

2024年6月1日から2025年5月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	379,413	11,007	368,406
特定資産受取利息	379,413	11,007	368,406
受取寄付金	369,971,706	380,135,520	△ 10,163,814
受取寄付金	369,971,706	380,135,520	△ 10,163,814
雑収益	10,182,675	9,312,512	870,163
受取利息	43,500	1,071	42,429
助成金返金益	4,797,314	4,389,799	407,515
寄附金返金益	5,341,861	4,921,642	420,219
経常収益計	380,533,794	389,459,039	△ 8,925,245
(2) 経常費用			
事業費	355,690,294	389,457,968	△ 33,767,674
旅費交通費	2,840,382	2,318,270	522,112
賃借料	5,958,660	5,958,660	0
業務委託費	9,066,388	8,344,195	722,193
支払助成金・支払寄附金	335,812,726	371,290,032	△ 35,477,306
まなべる基金	40,308,250	43,136,000	△ 2,827,750
子どもサポート基金	134,045,000	140,305,000	△ 6,260,000
子どもサポート基金（能登支援）	16,375,000	2,900,000	13,475,000
18歳まで携帯料金サポート	40,256	306,722	△ 266,466
福島人材育成支援（福島子ども未来塾）	5,000,000	8,000,000	△ 3,000,000
起業家応援事業	132,950,000	162,350,000	△ 29,400,000
その他の寄附	7,094,220	14,292,310	△ 7,198,090
その他の事業費	2,012,138	1,546,811	465,327
管理費	39,829,934	32,532,500	7,297,434
給料手当	3,994,908	3,994,908	0
業務委託費	8,661,397	5,783,551	2,877,846
通信運搬費	3,431,094	3,494,046	△ 62,952
支払報酬	3,516,700	3,604,700	△ 88,000
出向負担金	13,874,233	7,812,451	6,061,782
その他の管理費	6,351,602	7,842,844	△ 1,491,242
経常費用計	395,520,228	421,990,468	△ 26,470,240
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 14,986,434	△ 32,531,429	17,544,995
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 14,986,434	△ 32,531,429	17,544,995
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 14,986,434	△ 32,531,429	17,544,995
一般正味財産期首残高	75,295,111	107,826,540	△ 32,531,429
一般正味財産期末残高	60,308,677	75,295,111	△ 14,986,434
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 293,671,706	△ 320,521,462	26,849,756
一般正味財産への振替額	△ 293,671,706	△ 320,521,462	26,849,756
当期指定正味財産増減額	△ 293,671,706	△ 320,521,462	26,849,756
指定正味財産期首残高	828,304,388	1,148,825,850	△ 320,521,462
指定正味財産期末残高	534,632,682	828,304,388	△ 293,671,706
III 正味財産期末残高	594,941,359	903,599,499	△ 308,658,140

地域や人と交流しながらさまざまなプログラムに挑戦する

福島子ども未来塾



福島の未来を担う人材の育成を目指し、自然体験や郷土文化の学習、国際交流など、1年をかけて総合的な体験活動を提供しています。仲間と一緒に寝食を共にし、さまざまなチャレンジを重ねながら、福島の未来や自分自身の将来を描きます。

支援総額 **1.13億円**

支援者数 **2,511人**

※2025年5月までの支援総額

主催

◎独立行政法人
国立青少年教育振興機構

連携団体

◎一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
◎NPO法人じぶん未来クラブ など

支援への御礼コメント

参加者の声

- ・この福島子ども未来塾を通して、私は福島県の魅力を知り、福島県民として福島を誇りに思う気持ちが高まりました。そして、いろいろな経験をして仲間と交流する大切さやすばらしさを感じることができました。今後の生活でも未来塾10期生としての自信を持ち、生活していきたいです。
- ・県内全域に同年代の仲間がで、本当に幸せな経験を一緒にできました。未来塾で学んだこと、感じたこと、考えたことを、私のこれからの行動の軸としていきます。
- ・もう未来塾は終わってしまいましたが、友達ともボランティアのみんなどとも一生友達でいたいです。



話す・つながるをサポート 18歳まで携帯料金サポート



震災で保護者を亡くした子どもたちが、身近な人々と話し、つながるためのコミュニケーションツールとして携帯電話の料金をサポートしています。子どもたちが18歳になるまでの間、電話会社に関わらず、携帯電話やスマートフォンの料金を毎月1万円までお支払いし、子どもたちを含むご家族の経済的な負担を軽減します。

支援総額 **2,074万円**

※2025年5月までの支援総額

支援者数 **66人**

地域と向き合う若者の活動を支援し、東北に活気と変化を創造する ユースアクション東北



地元の復興や活性化に取り組む高校生や大学生の活動を支援しています。活動費用の助成の他、活動の実現に向けて助言や協力をしてくれる「伴走者」も紹介し、東北に更なる活気が生まれていくことを目指します。

支援総額 **528万円**

※2024年度活動実績なし

支援件数 **37団体**

その他の支援活動

将来、東北の復興を担う人材の育成など、他にもさまざまな支援活動を行っています

一般社団法人 Atlantic Pacific Japan

釜石市の中高校生のための防災・海洋安全・海洋環境について学ぶ教育プログラム

岩手・宮城・福島 MIRAI文学賞・映像賞

18歳から33歳の若者を対象に文学および映像を募集し、震災で多大な被害のあった3県の復興創生に寄与する作品を広く周知し、観光・産業分野に貢献することを目指す活動を支援

一般社団法人 HAMADOORI13

若者応援事業「HAMADOORIフェニックスプロジェクト」主体実施における支援

一般社団法人田部井淳子基金

東北の高校生たちと夏休みに富士山に登り、自然の素晴らしさを体験してもらいながら挑戦する力や仲間と協力する力などを高める活動を支援

小牛田高等学園フラダンス部

フラダンス部の活動を支援

魂に響くギフトコンサートの会

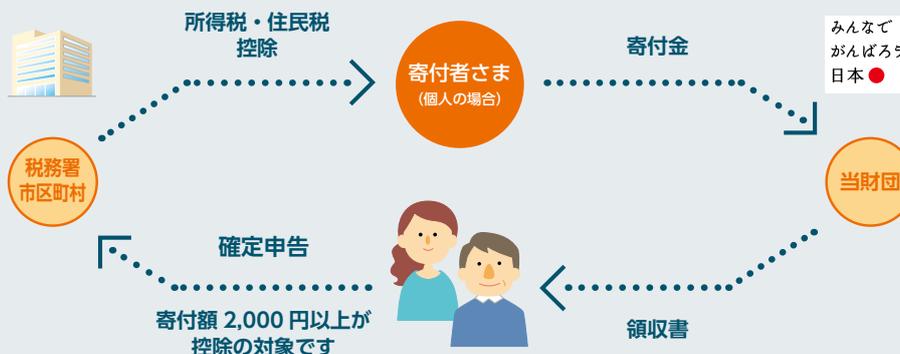
音楽の力で福島県内の子どもたちの心のケアを行う活動を支援

これまでのご支援誠にありがとうございます

2023年3月31日を以ってご寄付の受付を終了させていただきました。
長年にわたりご支援いただきましたこと改めて御礼申し上げます。
なお、今後も、これまでお寄せいただきましたご寄付で活動を継続いたします。

寄付の税制優遇措置について

当財団へのご寄付は、税制優遇を受けられます。



※ 1 個人住民税の対象は、全国一律ではありません。詳しくはお住まいの都道府県税事務所・各市町村の徴収窓口までお問い合わせください。
※ 2 法人の申告については、その法人の資産や所得の金額によって限度額が異なります。各法人の経理部門または最寄りの税務署へお問い合わせください。

※ 2020年10月16日以降に当財団に入金されたご寄付は従来の「所得控除」に加え「税額控除」も適用されることとなりました。

団体概要

団体名 公益財団法人 子ども未来支援財団

設立日 2011年6月14日

人員構成 評議員6名、理事7名、監事2名

評議員 寺島 実郎 一般財団法人 日本総合研究所 会長
村井 純 慶應義塾大学 特別特区特任教授
藤原 和博 教育改革実践家
小宮山 宏 株式会社 三菱総合研究所理事長
中村 伊知哉 iU (情報経営イノベーション専門職大学) 学長
青野 史寛 ソフトバンク株式会社 専務執行役員 兼 CHRO

代表理事 秋山 忠正

専務理事 池田 昌人 ソフトバンク株式会社 コーポレート統括 CSR本部 本部長

理事 佐藤 大吾 NPO法人ドットジェイピー理事長
中村 聡宏 立教大学スポーツウエルネス学部 准教授、一般社団法人日本スポーツマンシップ協会 代表理事 会長
吉田 千亜
前田 博隆 株式会社前田屋 代表取締役社長
高橋 ゆき 株式会社ベアーズ 取締役副社長

監事 大城 聡 東京千代田法律事務所弁護士
大橋 智哉 税理士法人 山田&パートナーズ シニアマネージャー

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

※2025年8月時点の役員情報となります。

みんなで
がんばろう
日本 ●

公益財団法人 子ども未来支援財団

info@minnade-ganbaro.jp

東京事務所

〒105-7535 東京都港区海岸1丁目7番1号
東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 35階

東北事務所

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡一丁目1番1号
JR 仙台イーストゲートビル 3F WeWork 内



この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。

2025年8月発行